

## 12.5 つどう3社縁アンケート抄-Q.私の社縁集団-

Facebook & Twitter (現X)「とある民俗学講師 (の補足メモ)」

- \* 社縁いろいろ：サークル（文化系、体育会系、パフォーマンス、ボランティア）、バイト、趣味、宗教、政治団体…
- \* 社縁の構造：目的、メンバー構成、活動規模、対外関係、制度化の程度…
- \* 社縁の絶望と愉悦：相対的に無根拠な秩序→疑似血縁化、疑似地縁化／実践共同体が産み出す親密さと排他性

【学園祭実行委員会】学園祭実行委員会に所属している。人数は100人弱、数局の部署（事務局、情報宣伝局、企画局、模擬店局、部展局、渉外局）に分かれたり、学年毎に分かれたりして一年中活動している。各局長と副委員長、委員長を合わせて幹部と呼び、立看板や書類など作成したものを下から上まで見てもらう会社のような組織だ。入部は新歓の時期の新入生のみ。そのため同回との付き合いは長くなるし、1回生から4回生になる年の学園祭まで活動するので、中高では関わることのなかった3つ上の先輩との交流も深くなる。全体に共通するのは、企画書などの書類を作成することで、私自身、Word、Excel、Illustrator、外部とのメール等の使い方に詳しなれた。悩むことも多いが、年齢学部問わず人の輪が広がるのが大学ならではの、この組織の魅力だと考えている。

【寮】京都大学熊野寮に在籍している私は、談話室と呼ばれる場所に入り浸っている。熊野寮は現在8つのブロックに分かれており、それぞれが談話室と呼ばれる共用スペースを有している。利用率はブロックごとに異なるが、私の所属するブロックは構成員の1/2ほどが利用、1/4ほどは常駐を言っているほどなぜかいつもいる。かくいう私も、そのうちの一人。談話室にはTV、マンガ、ゲームなどの娯楽用品が各種取りそろえられており、各々が好きなことをしている。私はボードゲームに熱を上げており、一年で十種類以上のボードゲームを購入しては談話室のメンバーと遊んでいる。自分の買ったゲームを、他の人が楽しそうにしているのを見るのは何ともいい気分になる。好きなことができ、他の人としゃべってもいいし、しゃべらなくてもいいし、来てもいいし来なくても良い、そんな距離感を私は気にしていない。友達以上、家族未満の不思議な関係なのである。

【文化系】読書サークル「ゆるゆると」2025年6月に5人で立ち上げる。I先生にご協力いただき月2回・毎回1時間程度活動している。紹介したいと思う「本」など持ち寄り感想などを話し合う。お菓子をつまみながらのゆるゆると、顔を合やす事が大事、なようだ。私はまだ紹介本は無い。皆の話が楽しく参考になっている。

【ファンダム】私が参加しているのは「美少年同好会」。美少年、中性的な男子、美青年などを対象に、ジャンルや媒体を問わず幅広く愛好・考察することを目的としている。活動内容は、好きなキャラクターや作品について語り合ったり、創作活動をしたり、それぞれが思う「尊さ」や「萌え」を共有することが中心となっている。ショタ趣味など、文化的・感性的な違い、趣味の境界や曖昧さを考える機会も多い。このサークルの魅力は、自分の好きなものを自然体で語れること。美少年趣味は一般には少し話しにくいテーマかもしれないが、ここではそれが当たり前の前提として共有されている。無理に盛り上がらなくてもいいし、静かに聴いているだけでも受け入れられる、そんなゆるくて自由な雰囲気が心地よい。

【ホビー】兵庫県三田市のウッディタウン地区で活動する将棋サークル「迷人会」に所属している。小学生の頃から将棋を指していて、父親以外に対局相手が欲しかったので、小学校近くのコミュニティハウスに貼ってあったチラシを見て加入した。中学生の頃は将棋に飽きたのもあり参加していない期間が続き、高校生になって久しぶりに参加すると、子どもは私以外一人もいなかった。活動場所が市民センターに移ると、三田市在住のフランス人男性（推定四十代）も参加しなくなり、私以外、還暦を迎えていない人がいなくなった。私が京都に引っ越した現在、迷人会の高齢化は止まらない。

【クラフト】私は京都市下京区にある編み物教室に通っており、月2回程度、グループでおしゃべりをしながら編み物をしている。初老の女性が多く、大学生の私はかなり異質ではあるが、みな暖かく輪に入れてくれて、楽しく続けられてい

る。一人暮らしを始めて、気軽に話せる大人がいなくなりましたが、そのグループでは気兼ねなく人生の先輩に悩みを相談したり、いろんなことを報告したりできる。そういった意味で、自分の拠り所となっている。

**【アート】** 私は服飾サークル「COLORS！」に所属している。このサークルは全てのジェンダーに向けた服飾サークルで、ファッションやメイクなどを通して、自分のなりたい自分になるという理念を掲げ、主に女装やロリータと言ったサブカルファッションをしたい人が集っている。月に二度ほど、キャンパス内でオフラインでの例会を行っているが、その活動内容は主に学校祭の準備、各々のファッションに対する称賛、メイク初心者へのアドバイス、ファッションに関する情報交換などが挙げられる。私が参加している理由は、このサークルでは互いの感性の否定を行わないからである。どんなジェンダーであろうと、どんな奇抜と言われるようなファッションであろうと、一人一人の個性を大切に肯定する。その在り方が眩しく感じられ、自分もそう在りたいと思いつている。

**【パフォーマンス】** 私は、インカレの合唱サークルに所属している。L会（Leader's 会議）、M会（Member's 会議）などの組織に加え、人事、庶務、会計、ステージマネージャー、パートマネージャーなどの役職が設定されており、主に2回生・3回生がそれらの役職を受け持って運営している。活動は月、水、金の週3回。各声練習の日と混声練習の日に分かれている。また、サマーコンサートや定期演奏会などの大きな発表会の前には、強練と称して、毎週の土日にも練習が行われる。他にも、合宿、ピクニックなどの行事が設けられている。私がこのサークルに参加しているのは、雰囲気、居心地がよいことに加え、週3回という活動頻度が自分の生活習慣にちょうど合っているからである。週3回と言っても参加は完全な任意で、授業やバイト、他のサークルの活動などの、自分の都合を優先させることも可能である。練習に来ていたメンバーの顔触れも毎回少しずつ違う。にもかかわらず、毎回の練習に必ず一定の人数が集まるのが不思議である。

**【スポーツ】** 「あんぱん」というランニングサークルは、火曜と金曜の5限目の後に鴨川沿いを走るという活動をしています。自由参加で、ちょっとした気分転換や運動不足解消にうってつけだったので参加しています。

**【ボランティア】** TRYという外国人労働者、及びその家族、難民の方々を支援する活動を行うボランティアサークルに参加している。関西の学生や社会人によって構成されているが、自分はその学生支部に所属している。主に入管関連の問題を扱っており、今年5月に入ったばかりの自分は学習会で学んでいる途中である。夏休みには入管に収容されている外国人の方に面会に行く予定だ。独りよがり活動するのではなく、当事者である外国人の方の立場に立って考えることを大前提にしているところに魅力を感じている。

**【バイト】** 私の社縁集団は、カラオケ店「ビックエコー」でのバイト仲間です。高校生から大学生、フリーターまで15人ほど、さまざまな年齢層のスタッフが働いています。仕事内容は、フロントでの受付対応や部屋の清掃、ドリンクやフードの提供など多岐にわたります。忙しい時間帯も多いですが、スタッフ同士が協力しながら動くので、自然とチームワークが生まれます。私が魅力を感じているのは、年齢や立場を越えて気軽に話せる雰囲気がある点です。仕事終わりに一緒にご飯に行ったり、誕生日をサプライズで祝ってくれたり、まるでサークルのような温かさがあります。また、接客や電話対応などを通して、社会人としてのマナーや責任感も身につけることができ、自分の成長にもつながっています。

**【オンライン】** ホロライブというVtuber事務所に所属している儒鳥風亭らでん氏のファン（でん同士）の集まりに時々参加している。普段はDiscordというSNSアプリで交流しているが、推しも勧めにより日本酒を飲む会を開いたり、全国の博物館・美術館と一緒に美術鑑賞していたりする。直近では、らでん氏が宣伝配信を行った奈良国立博物館「超・国宝展」の見学を十数人一緒に行った。さらに少し前には、でん同士が店主を務める渋谷鳥ぶらん（渋谷駅前）で日本酒オフ会を行った。私の専門領域が仏教美術であることから、でん同士の知識人枠として参加させていただいているが、メンバーの多くは何かしらの分野に精通している者で占められており、Vtuberファンとしてはある種特殊な集団となっている。これは偏に推しが「何かをつきつめる楽しさ」を配信等通して伝えている成果であるといえよう。